

笑顔

光井中学校
教務通信
第30号
2022年(令和4年)

2月1日 火曜日

彼を知り己を知れば

二月に入り、三年生の私立
高校受験も一段落しました。
二十八日には聖光高校の一
般入試が行われ、多くの生徒
が試験に臨みました。よい結
果となることを願っていま
す。

当日、光井中学校では、一、
二年生の習熟度テストが行
われました。一、二年ともに
今年度初めての習熟度テス
トでした。定期テストとは違
った緊張感を味わいながら、



テスト風景2年

生徒たちは目の前の設問と
真剣勝負を繰り返していま
した。解答用紙は教科ごとに
順次返却します。また、準備
ができましたら定期テスト
同様、成績カードを配布いた
します。

ところで、習熟度テストと
はどういうテストでしょう。
「習熟」とは、「慣れて十分
に会得すること。(広辞苑よ
り)」という意味です。その
「度合い」を測るテストとい
うことですから、習熟度テス
トとは、各教科の学習内容を
十分に会得しているかどう
かを測るテストだというこ
とになります。学校で行われ
る定期テストも、授業で学ん
だ学習内容がきちんと身に
ついていっているかどうかを測る
ために行われます。つまり、
本質的には習熟度テストも
定期テストもその目的に大

きな違いはないと言えます。た
だ習熟度テストは学習教材の作
成を専門に行う企業が作成しま
す。その意味では、定期テスト
に比べ、より一般的、客観的に
学力を測ることができるとい
うことは言えるかもしれません。
「彼を知り己を知れば百戦殆
(あや)うからず」これは中国
の古典『孫子』の中の有名な一
節です。現状を知り、自分自身
のことをよくわきまえることの
大切さを説いたものと言いま
す。今回の習熟度テストを「己
を知る」よい機会ととらえ、今
後に生かしてほしいと思いま
す。ちなみに、この後、孫子は
こう続けています。「彼を知らず
して己を知れば一勝一負す。彼
を知らず己を知らざれば戦う毎
に必ず殆うし。」繰り返し味わ
うべき言葉ではないでしょうか。



テスト風景1年

昼休みを有意義に

新型コロナウイルスの感染拡
大に伴い、光井中では現在、部
活動を停止しています。体育の
授業以外、学校で思い切り運動
する機会はほとんどありません。
そんな中、毎日のように昼
休みに校庭で体を動かしてい
る生徒たちがいます。砂場の鉄
棒付近からは二年生の元気
な男子生徒たちの活気あふれ
る声が聞こえてきます。

昼休みは、学校の時程の中
で、自分たちが自由に使うこ
とができる唯一の時間です。何に
使うかは人それぞれです。外に
出て体を動かすもよし、図書室
や教室で読書にいそしむもよ
し、のんびりと友達とのおしゃ
べりを楽しむもよし。有意義な
時間を送ってほしいものです。



鉄棒で遊ぶ生徒たち

光井中百景 その二十九

先日、アメリカの科学雑誌
が、人類最後の日までの残り時
間を象徴的に示す「終末時計」
の二〇二二年の時刻を発表し
ました。それによると人類に残
された時間は、あと一分四十秒
だそうです。

光井中学校にはたくさんの方
の時計があります。休むことなく
時を刻みながら、生徒たちを見
守っています。



校舎壁面の時計 (グラウンド側)

お知らせ

◆二月一日から二日にかけてタ
ブレットの持ち帰りを行います。
タブレットを使い学校から学習
課題を配信します。休校になった
場合、学校と生徒をつなぐツール
としてタブレットのようなICT
機器は有効です。今後も効果的
な活用の仕方を考えていきたい
と思います。